



議会だより

あまがさき

令和5年
9月定例会

令和5年10月25日
第129号

現地調査

— 総務文教厚生常任委員会 —



▲天城町立北部保育所



▲天城町立図書館

◀天城町歴史文化産業科学資料センター
「ユイの館」

— 建設経済産業常任委員会 —

町営大和城バンガロー



◀農業基盤整備促進事業
(南部地区1号農道)



◀農業基盤整備促進事業
(北部地区2号排水路)

目次

- 一般質問 P 2
- 委員会意見書を執行部等へ申し入れ P12
- 令和5年度 建設経済産業常任委員会所管事務調査 P13
- 令和5年9月定例会 P15
- 盛山正仁氏初入閣／副町長選任／編集後記 P16

奥 好生
議員

建設行政について

問 兼久小学校グラウンド西側の急傾斜地崩落箇所対策について。

答 兼久小学校グラウンド西側の急傾斜地崩落箇所については、令和5年度緊急自然災害防止対策事業を活用して、工事の発注を終え年度内完成を目指す。



兼久小学校グラウンド西側の急傾斜地崩落箇所

問 集落内排水路の設置事業について。

答 現在、集落内の排水による衛生環境が悪い箇所は、国庫補助事業での工事を行っているが、その事業条件に合致しない場合は、町単独事業等で工事を行っている。引き続き、集落内の排水環境が改善されるよう事業等を行う。

防災対策について

問 集落公民館等の避難所機能の向上対策について。

答 令和4年度から奄美群島成長戦略推進交付金を活用し、年次的に避難所の改修及び機能強化を図っている。令和4年度には、前野福祉館、西阿木名地区振興センターの2ヶ所を整備し、今年度は与名間生涯学習センター、松上公民館、瀬滝地区構造改善センターの3ヶ所を計画しており、現在実

施設計まで完了し工事着手していく。また、その他の避難所についても耐震診断を実施しており、今後計画的に改修及び機能強化を図り、安心安全なまちづくりに努める。

南部ダムについて

問 南部ダムの管理状況について。

答 南部ダムの管理状況については、天城町南部ダム管理条例に基づき維持管理している。今年度も、ダム内の堆砂（たいさ）状況調査を実施し、有効貯水量の33万9千立方メートルを確保する。

徳之島空港ビルについて

問 徳之島空港ビルの建て替えについて。

答 徳之島空港の貨物ビルが昭和49年、ターミナルビルが

昭和55年に運用を開始し、それぞれ49年、43年が経過した。徳之島の空の玄関口であり、世界自然遺産登録の島としての観光需要を考えると徳之島空港の老朽化した貨物ビル及びターミナルビルの建て替えについては喫緊の課題である。

徳之島空港ビル株式会社及び徳之島空港利用促進協議会とも連携を図り、国・県と協議を進めていく。



徳之島空港ビル

教育行政について

問 教育委員会・教育委員会事務局・幼稚園・小中学校の役割と連携について。

答 幼稚園・小中学校の役割と連携については、園や学校の教育活動の全般に対して、随時の学校訪問や管理職との面談等様々な機会を活用して指導・助言を行うなど連携を図っていく。

問 北中学校の教育環境の改善について。

答 北中学校の教育環境の改善については、6月定例会で質問のあった校舎玄関前のバリアフリーを妨げていた構造物の撤去、国旗掲揚台及び体育館については改善した。志の塔への野鳥等の侵入防止策及び図書室外壁等の塗装など今後、順次改善していく。

問 中学生の海外派遣事業について。

答 令和2年度より中学生を対象としたホームステイ形式の語学研修を行う海外派遣事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和4年度は、オンラインで実施した。今年度についても、新型コロナウイルス感染症の影響がはつきりしなかったために、海外派遣を実施していない。令和6年度については、中学生の海外派遣を実施したい。

問 学習塾夏季スクーリングについて。

答 教育委員会では、平成30年度から「自主的学び」応援事業として教科セミナーに参加している中学校2年生及び3年生で、夏休み期間における島外学習塾夏季スクーリングを希望する生徒に費用の一部助成を行っている。

問 中学生の修学旅行先を関西方面に見直す計画はないか。

答 旅行場所の決定は、教育委員会の指導助言の下、校長の裁量に委ねられており、教育委員会としては、より効果的な修学旅行となるよう、今後とも学校との連携等に努めていく。



吉村 元光
議員

教育行政について

問 西阿木名小・中学校校舎建替え計画について。

答 現在進めている学校給食センターの新築工事が、令和7年頃に竣工を目指しているので、その次に西阿木名小・中学校校舎建て替えに取り掛



西阿木名小・中学校

かりたい。学校教育においての学びのなかで小中連携は効果的役割果たすことが見直されていることからその実践の場になり得る。

問 児童・生徒の学力の現状と、向上への取り組みについて。

答 全国学力・学習状況調査の結果から、天城町の児童・生徒の学力は全国平均と比較してその正答率は小学校時点では差がないものの、中学校時点になると下回る傾向にある。しかし最近は少し

改善の兆しがある。これは各学校での授業改善や個別指導・支援の充実の成果であり、今後は小・中学校の連携を深め、キャリア教育の推進を図り、学校では、一人一人の児童・生徒に応じた個別最適な学び、家庭では基本的な生活習慣を確立し、児童・生徒が学びやすい環境を整えるために家庭の教育力向上を目指す。また、保護者に教育に対する関心、理解を深めるために家庭教育学級等の活動の充実や専門講師による講演会を開催する。

問 文化活動への支援について。

答 文化活動への支援として、文化協会、結シアター手舞、徳之島子ども劇場へ補助金を交付しているところですが、生涯学習推進室講座の講師の育成や民謡全国大会等に出席する旅費等の負担軽減をもっと図っていきたい。

問 夏休み期間の児童クラブ利用児童への食事提供について。

答 令和2年度までは、町内児童クラブ利用児童へ昼食の提供をしていたが現在行われていない。今後、利用児童の意向を踏まえ実施の有無を判断したい。

行政運営について

問 役場職員の採用について。採用試験受験制限年齢を35歳から45歳程度に拡大できないか。

答 役場内では、専門職（土木技術等）の職員が不足している現状である。また、今後、デジタル技術等専門職取得者、文化、スポーツなど一芸秀でた者や社会でキャリアを積んだ人材が町政発展には欠かすことが出来ないことから、人材マーケットの拡大をはかるため

受験制限年齢を広げる（35歳から45歳程度）ことを検討する時期にきている。

農政について

問 畜産農家の経営危機を乗り越える対策はないか。

答 飼料を始めとする農業資材の価格高騰、子牛の市場価格の低迷など、畜産農家にとっては大変厳しい状況となっている。

この状況を改善すべく、価格高騰対策としては、肥料価格高騰対策事業や配合飼料価格安定制度における緊急対策支援、また町においては地方創生臨時交付金を活用し、農業資材クーポンを発行し農産物生産コスト支援事業を実施した。更に飼料の自給率向上を目指し、今年度より資料畑の土壌改良資材助成を実施しており、化学肥料の2割軽減の為の堆肥助成を現在準備中

である。

市場価格対策としては、和牛生産者臨時経営支援事業や肉用子牛生産者補給金制度が実施・発動されている。4月から6月のセリ牛に対し1頭あたり1万5千円が交付される。

しかしながら、畜産農家の窮状はまだ厳しいものがあるので、今後も関係機関と連携を図るとともに、国、県の動向を注視し、農家への支援に努めて参りたいと考えている。





松山小百合
議員

行政運営について

問 不適切な事務処理についてその後の対応等はどうなっているのか問う。

答 教育委員会総務課での令和4年度内未執行事務並びに徳之島三町ネコ対策協議会の事務局であるくらしと税務課に在籍した職員による令和4年度における不適切事務及び公金の私的流用（着服）、農業委員会会計年度任用職員による農業委員の積立金着服が発覚し、教育委員会総務課での未執行事務については、県への実績報告の修正を行っている。職員については、懲戒処分（戒告）担当課長に対し訓告、教育長は減給処分。くらしと税務課の件について

は、私的流用（着服）した全額を返金し、補助対象とならず三町に損害を与えたものについて、すべて損害補填されている。職員については、

7月12日付けで懲戒免職とし、管理監督責任として担当課長及び総務課長を懲戒処分した。農業委員会の件については、各農業委員の私財（個人の財産）であり、公金ではないことから、現在、農業委員代表と元会計年度任用職員の間で返済に向けた協議が行われている。今後については、各課で取り扱いをしている協議会や各種団体の通帳を会計課で保管し、出金作業について二重三重のチェックを行い、各事業の進捗状況について、総務課において予算執行状況等を確認し、課長会で早期着手を指導している。今後はこのような事が無いよう改めて全庁体制で取り組みを強化していく。（※一連の件

について本定例会において町長の減給の議案が提出され、議決された。）

台風時の対応について

問 台風接近時の食料品不足の対応策及び農産物出荷等の対応について問う。

答 先の台風6号では12日間の船の欠航により、食料品などの生活物資、畜産飼料などの不足が生じた。島外への移出品では特に出荷ピークのマンゴーが出荷することができず、生産農家は大きな損失を受けたところ。マンゴー農家の所得向上については、デイスカパー徳之島という事業の中で売り先の開拓をしているところ。商品価値の平準化と定時定量出荷というところをクリアし販路開拓及び拡大につなげるための施策を講じていきたい。

食料品等の対策としては、

小売業者においては仕入れ量を増やす等の対応をしている小売店もある。ご家庭においては、台風シーズンは、長期保存できる食料の備蓄に心がけていただきたい。また、冷蔵コンテナなどの貸し出し事業を活用するなど、今後、商業や農業の各団体とも協議し、台風の中にあっても安定して物資が供給・出荷できるよう環境整備に努めていく。

歯科保健行政について

問 天城町の子どもの「う蝕罹患率」（うしよくりかんりつ）について町の具体的な取り組みと現状について問う。

答 「う蝕」とは、（むし歯）「罹患」とは、（病気にかかる）という意味です。町の具体的な取り組みは、4ヶ月・7ヶ月健康診査を12回、1歳6ヶ月

月児健康診査を年4回、2歳児2歳6ヶ月児歯科健康診査を年3回、3歳児健康診査を年4回行っております。

歯科健康診査後に、希望者全員にフッ素の塗布、個別で仕上げ磨きの方法や、おやつの与え方の指導を行っている。現状として令和4年度の「う蝕罹患率」は、1歳6ヶ月児で（2・2％）、2歳児で（8・8％）、3歳6ヶ月児で（10・3％）、3歳児で（22・2％）となっております。予防対策については、各歯科健康診査時に歯科衛生士により個別指導を実施している。また、年2回、各保育所・幼稚園に出向き年中児・年長児を対象とした歯科教室も実施している。保育園の年中・年長児にフッ化物洗口を行なっているが、小中学生への実施も前向きに検討する。



昇 健児
議員

教育行政について

問 地域活性化、スポーツ振興、男女の出会いを目的に平土野浜で行われた第1回ビーチバレーボール大会を今後も継続、拡大する為に更なる行政支援を検討できないか。

答 去る7月30日、日曜日、平土野浜で開催されました第1回ビーチバレーボール大会には、町内外から中高生を含む多くの方々が参加し、大いに盛り上がり素晴らしい大会だったと思う。

地域活性化やスポーツ振興、青少年の健全育成のために、教育委員会と致しまして今後も全面的なサポートを行っていききたいと考えている。

防災・防犯対策について

問 台風の際の停電防止対策として断線の恐れのある危険樹木、枝等の伐採を九州電力と協議し、継続して行える体制を作れないか。

答 現在、九州電力送配電株式会社奄美配電事業所と「災害時における電力復旧等に関する協定」を令和3年4月に締結している。

主な内容としては、相互の災害情報の共有、住民に重大な影響を及ぼす施設への優先緊急送電、電力施設復旧に支障のある道路障害等の優先復旧などとなっている。

現在の協定には危険樹木等の伐採について項目はありませんが、今年度、奄美市が同事業所と「風倒木被害を未然に防止するための事前伐採に関する協定」が締結されており、今後内容を参考にし、本町も協定締結に向けて取り組んでいく。

問 防犯等の対策として防犯カメラの設置推進について。

答 防犯カメラの設置については、令和4年度に総合陸運ガソリンスタンド前交差点と平土野ポケット公園前交差点に設置し、令和5年4月1日から運用開始している。あわせて徳之島警察署と天城町街頭防犯カメラ映像提供に関する協定を締結した。

今年度は空港入口交差点と旧富田商店前交差点（瀬滝）に設置を予定している。

また、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、町内の小中学校を中心に安心見守りカメラ19基を設置する。

防犯カメラの年次的な計画及び安心見守りカメラを設置することで、防犯や事故を未然に防止するとともに高齢者及び子ども達の安心・安全の確保に努める。

建設行政について

問 住宅不足解消及び歳出削減の為に民間による賃貸住宅建築の推進について。

答 現在、町営住宅の管理戸数は、352戸です。

今後も公営住宅等長寿命化計画に基づき、新規建設や建て替えなど行い、町営住宅を希望される方々に快適な住宅を提供できるよう推進していく。

しかしながら、随時、30世帯から40世帯の待機者（子育て世帯や高齢者世帯）がおり、その解消については課題である。

このような状況の中、民間による賃貸住宅整備につきましては、令和4年度に1事業者4戸の整備、本年度は2事業者で8戸の建設が予定されている。

町としても、民間事業者による賃貸住宅整備は、大変有り難く思う。

町営住宅の整備、空き家の活用に加えて民間の賃貸住宅整備を推進し、住宅不足解消に努めていきたいと考えている。



大吉 皓一郎
議員

創生天城について

問 中央地区の活性化について（ウッドデッキ・高千穂通りの段差の解消・植木の剪定指導）。

答 県において次年度以降「防波堤の海側にある消波ブロックを撤去して階段状の親水ブロックを設置する計画を立ち上げる予定。その際ウッドデッキも計画に組み込んでいくようお願いしている。高千穂通りの段

差については部分補修は対応したい。シャリンバイの剪定については資料を作成する。植木の管理についてはクリーン作戦時など集落の皆様の協力をお願いする。

農地整備事業について

問 農山漁村地域整備交付金 海岸環境整備状況と整備計画について。

答 令和5年1月12日に県農地整備課に対して海岸環境整備状況、整備計画について天城町から3つのお願いとして支援ご指導をお願いしてきた。基盤整備促進事業で実施している千間海岸までの道路整備事業（延長488m）・舗装57m法面ブロック積16m・Lブロック8m中央に水路を設けている。滑り止め対策も行う。今年度で完了する予定。

商工水産観光課の主要事業について

問 令和5年度から7年度までにおける大和城観光地連携整備事業、浅間湾屋洞穴観光地整備事業、千間海岸観光地連携事業の予算と形状について。

答 これまで登山道・上名道森林公園・バンガローの整備を行った。今後は団体用バンガロー、多目的芝広場、既存の建物を活かした休憩所等の整備も考えている。浅間湾屋洞穴東側2号洞穴、北側3号洞穴について進めていく。



建設行政について

問 県道83号線伊仙・天城線を平土野方向へ300m程延長できないか。

答 現在県道83号線伊仙・天城線、県道80号線（伊仙・亀津空港線改良）・歩道の整備3点について県へ毎回要請している。今後も要望していく。



県道 83 号線伊仙・天城線

問 住宅増改築・リフォーム工事に対する補助はどのような状況か。

答 現在町単独事業で空き屋改修事業、お帰りなさい住宅改修事業を展開し、空き屋の利活用に注力している。一般住宅の増改築・リフォームに対する助成事業については、防災機能の強化やバリアフリー化など改修要望は高いものと認識しており事業化に向けて準備を進めていく。

教育行政について

問 教育委員会の各施設・各種事業は適正に管理運営されているか。

答 海洋センタープールでは、今年から幼稚園児・保育園児を対象として水慣れ教室や高齢者を対象とした介護予防教室・水中運動教室を実施した。

図書館の参考図書は元の

場所に戻し特別整理期間に移動する。図書館は使う方々の立場に立って安全・安心・危険のないように検討していく。天城中学校屋外夜間照明施設整備事業については、（totoの補助事業を活用し）2千662万円で工事を進めている。



柏木辰二
議員

水道事業について

問 瀬滝地区において水圧が弱く日常生活に支障がある区域、また水質に問題が生じる区域があるが、今後の対応をどのように考えているのか。

答 現在、瀬滝地区の皆様には、水圧の低下について、ご

迷惑をおかけしている。未だ抜本的な解消には至っていないが、対応策として、本年度から水圧の弱い家庭に対し、低水圧区域解消事業として『受水槽一体型給水ユニット』の補助事業を実施し低水圧の解消に努めていく。水質の問題については、集中豪雨など降雨量が多い場合水源池に、多大な濁りが生じ浄水場で十分な処理が出来ておりませんので、浄水場での濁りの度合いによって濁りを固める凝固剤の投入量を調整し、濁りを抑えて送水している。今後の対策として、本年度より生活基盤近代化事業を実施し、5ヵ年計画で瀬滝地区も含め、町内の老朽施設、配水池、老朽管路の更新整備を進めていく。

教育行政について

問 施政方針に学校給食には地場産品を積極的に活用するところがあるが、現在の状況はどのようなになっているのか。今後の取り組みはどのように考えているのか。

答 学校給食での地場産品の活用状況については、「じゃがいもや冬瓜、パイナップル、きくらげ等」の地場産品を活用している。また、地場産牛肉を使ったビーフカレーは、子どもたちから大好評であった。さらに農家さんから食材提供の依頼があった場合は、学校給食に合う規格・品質等を確認した上で取り入れている。今後の取り組みについては、農家の皆さんとのネットワークを拡充し、また海産物を取り入れるなど、多くの地場産品の利用に繋がっていきたいと考えている。

行政運営について

問 くらしと税務課及び農業委員会における不正に対する対応と今後の取り組みについてどのように考えているのか。

答 徳之島三町ネコ対策協議会の事務局である、くらしと税務課に在籍した職員による令和4年度における不適切事務及び公金の私的流用（着用服）、農業委員会会計年度任用職員による農業委員の積立金着服が発覚し、町民の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

まず、くらしと税務課の件については、私的流用（着用服）した金額の全額が返金された。併せて、補助対象とならず三町に損害を与えたものについても、すべて損害補填されている。職員については、7月12日付け

で懲戒免職とし、管理監督責任として担当課長を10%3ヶ月、総務課長を10%1ヶ月の懲戒処分とした。農業委員会の件については、各農業委員の私財（個人の財産）であり、公金ではない。

現在、農業委員代表と元会計年度任用職員の間で返済に向けた協議が行われている。これまでも、職員・会計年度任用職員には服務規律・公金の取り扱いには細心の注意を払うことを強く指導してきたが、このような不祥事がおきたことは誠に遺憾であり、改めて全庁体制で取り組みを強化する。

現在、各課で取り扱いをしている協議会や各種団体の通帳を会計課で保管し、入金作業について二重・三重のチェックを行っている。一連の不祥事に関して、責任の所在を明確にするため、私自身の減給についても、

この定例会においてお示ししたい。今後、再発防止の徹底を図り、天城町役場の信頼回復に努めていく。

政治姿勢について

問 防災センター工事における交付金返納事件の裁判経過はどのようなになっているのか。

答 天城町防災センター未竣功工事に関する住民訴訟は、6月定例会以降、7月19日に第8回公判が鹿児島地裁で行われた。次回第9回公判は、9月27日に行われる予定。この件につきましては、今後も真摯に対応していく。





久田 高志
議員

農政について

問 肥料、飼料、生産資材等価格高騰、畜産価格暴落に対する農家支援は検討できないか。

答 価格高騰対策としては、肥料価格高騰対策事業や配合飼料価格安定制度における緊急対策支援。地方創生臨時交付金を活用し、農業資材クーポンの発行、農産物生産コスト支援事業を実施しました。また、飼料の自給率向上を目指し、今年度より飼料畑の土壌改良資材助成を実施しています。さらに、化学肥料の2割軽減の為の堆肥助成を現在準備中です。市場価格対策としては、和牛生産者臨時経営支援事業や肉用子牛生産者補

給金制度が実施・発動されているところ。4月から6月のセリ牛に対し1頭あたり1万5千円が交付されます。しかしながら、畜産農家の窮状はまだ厳しいものがあるので、今後も関係機関と連携を図るとともに、国、県の動向を注視し、農家への支援に努めたいと考えている。

建設行政について

問 土木、建築業者ランク(級)付けの基準はどのようになっているか。

答 格付けの基準としましては、鹿児島県の格付けに適用された県の評点を基に町の経営評点及び工事評点を加点し格付けを行っております。

問 県の格付けと違いがある。さじかげんと、誤解を招かぬよう公平で明確な格付け基準を設けるべきであり県の格付

けを下回ることのないように努めるべきでは。

答 格付け基準表の中に『県の格付けを下回ってはならない』との文言を付け加える。

問 建設業企業育成の取り組みについてどのように考えているか。

答 「企業育成」は、技術講習会や施工管理技術者の資格取得などの取り組みを国・県及び民間の方で進めておりますが、町としましては、工事発注後、担当する監督員及び総括監督員が、受注業者と連携を密に取りながら互いに施工管理・品質管理に努め「工事品質向上」に取り組んでいるところであり、また、天城町独自の取り組みとして発注事業ごとに工事成績票による工事評点を業者へ通知しています。これらを通して「企業育成」にも繋がると考えている。

問 企業育成のため分離発注についてどのように考えるか。

答 機械設備、電気設備については分離発注している。防水塗装についても検討し企業育成につながる努力も役場として取り組んで行きたい。

政治姿勢について

問 一連の職員不祥事の経緯、その後の対応はどのようになっているか。また責任の所在についてどのように考えているか。

答 徳之島三町ネコ対策協議会の事務局であるくらしと税務課に在籍した職員による令和4年度における不適切事務及び公金の私的流用(着服)、農業委員会会計年度任用職員による農業委員の積立金着服が発覚し、町民の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこと、深く

お詫び申し上げます。

まず、くらしと税務課の件につきましても、私的流用(着服)した金額の全額が返金されました。併せて、補助対象とならず三町に損害を与えたものについても、すべて損害補填されています。職員については、7月12日付けで懲戒免職とし、管理監督責任として担当課長を10%3ヶ月、総務課長を10%1ヶ月の懲戒処分としました。

農業委員会の件につきましては、各農業委員の私財(個人の財産)であり、公金ではございません。現在、農業委員代表と元会計年度任用職員の間で返済に向けた協議が行われています。

これまでも、職員・会計年度任用職員には勤務規律・公金の取り扱いには細心の注意を払うことを強く指導してまいりましたが、このような不祥事がおきたことは誠に遺憾

であり、改めて全庁体制で取り組みを強化いたします。現在、各課で取り扱いをしている協議会や各種団体の通帳を会計課で保管し、入出金作業について二重・三重のチェックを行っています。

一連の不祥事に関して、責任の所在を明確にするため、私自身の減給についても、この定例会においてお示しいたと思います。

今後、再発防止の徹底を図り、天城町役場の信頼回復に努めてまいります。



天城町議会

@user-go3xq6zo3w チャンネル登録者数 121人
90本の動画

このチャンネルの詳細 >

チャンネル登録

ホーム ライブ 再生リスト コミュニティ チャンネル >

新しい順 人気の動画 古い順

令和5年
第3回 徳之島愛ランド広域
連合議会定例会

おなじみ 1:34:21

令和5年第3回徳之島愛ランド広域連合議会定例会

147 回視聴・6 日前 に配信済み

令和5年第3回天城町議会定例会(4日目)

320 回視聴・12 日前 に配信済み

令和5年第3回天城町議会定例会(3日目)

261 回視聴・3 週間前 に配信済み

令和5年第3回天城町議会定例会(2日目)

411 回視聴・4 週間前 に配信済み

定例会の詳しい内容については、AYTにて当日の生配信及び後日の再放送、または、インターネット動画配信サイトYouTube(ユーチューブ)でもご覧いただけます。



天城町議会
You Tube チャンネル

委員会意見書を執行部等へ申し入れ

総務文教厚生常任委員会・建設経済産業常任委員会では、令和4年度歳入歳出決算について、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定しました。

なお、審査過程に於いて下記の事項を委員会の意見として執行部及び農業委員会に申し入れる事が適当であると決定しました。

●総務文教厚生常任委員会

【執行部へ対する意見】

1. 予算の不用額が多額となっている項目が散見される。予算の積算は的確にすべきである。
2. ふるさと納税による財源確保は本町の喫緊の課題であり、組織強化やPR活動を積極的に推進すべきである。
3. 各公共施設の運営は諮問する運営協議会の意見も尊重すべきである。
4. 各学校のプール維持管理について、B&G 海洋センターのプール活用も含め、今後の方向性を検討すべきである。
5. 決算書については、主要な施策に対する成果及び参考資料の充実化を図るべきである。
6. 自衛隊誘致活動を積極的に推進するべきである。



●建設経済産業常任委員会

【執行部へ対する意見】

1. 水道料金及び公営住宅家賃の滞納整理においては、具体的な数値目標を掲げ確実に徴収すべきである。
2. 前野・岡前横断線改築事業において、事業完了の見通しを確実に立てる必要性から、取得すべき用地の地権者全員の同意を得た後に事業着手すべきである。
3. 多面的機能支払交付金事業において、対象エリア内の均一な作業を実施するよう組織へ対し適正に指導すべきである。
4. 各種公共工事の品質向上を図ることを目的とするため、工事検査を適正に行ない、事業所に対し施工した土地の所有者等へ配慮するよう指導すべきである。
5. 交付金取扱いに関する不祥事を受け、事務の適正化を図るべきである。



【農業委員会へ対する意見】

1. 農地利用最適化交付金事業においては、事業目的を再確認するよう指導すべきである。事業を適切に且つ効果的に実施すべきであることから活動日誌の内容の実績確認を行い、活動日誌に写真添付や地図を記載する等、具体的な現況確認を徹底し荒廃地解消などの農地の適正化を図るべきである。

令和5年度 建設経済産業常任委員会所管事務調査

視察年月日…令和5年6月12日(月)～14日(水)

視察者…大吉委員・喜入委員・柏井委員・柏木委員・

久田委員・前田委員・松山委員(随行者 實村書記)

五十音順にて記載

視察先…高知県梼原町

今回、調査地とした梼原町は本町と財政規模や過疎区分も同様で観光資源、地域資源の活用が魅力的であることから選定した。

木造芝居小屋「ゆすはら座」の保存運動に協力したことがきっかけで日本を代表する建築士である隈研吾氏の設計した町立図書館・町役場の庁舎・雲の上のギャラリー・雲の上ホテル別館に足を運んだ。隈研吾氏が建築哲学を学んだ場所として「ゆすはらは新国立競技場の原点」ということで、建築を学ぶ学生や建築に興味がある方が多く訪れるそう。その宿泊需要に対応する取組みも面白いもの

であった。

どれも素晴らしいものであったが、町立図書館は圧巻でありデザイン性の素晴らしさは元より館内のカフェは障がい者支援としての雇用創出の場になっており、ボルダリングスペースも整備され、館内に置かれたグラインドピアノで不定期のミニコンサートを開催するなど幅広い年齢層が一つの空間を共有できる素敵な町立図書館であった。

また、ゆすはら町内7箇所に集落活動センターという集落拠点施設が整備されており、地域住民が主体となって旧小学校や集会所等を拠点に地域外の人材も

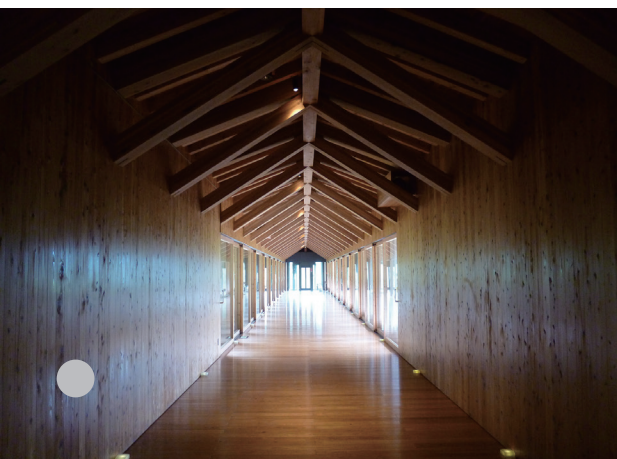


ゆすはら雲の上観光協会内にて



梼原町役場庁舎(上)／ゆすはら座(右)





雲の上のギャラリー

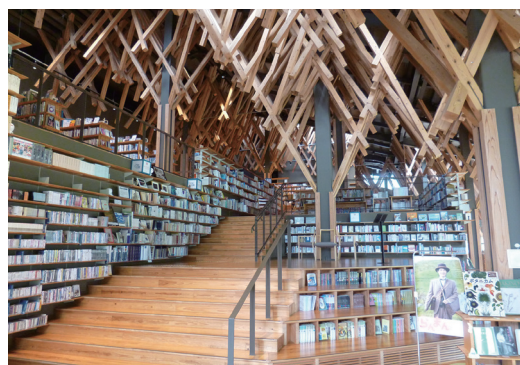
活用しながら近隣の集落と連携を図り、それぞれの地域の課題やニーズに応じて地域ぐるみで取り組む仕組みを視察した。ある集落活動センター（集落活動センターはつせ）では韓国との国際交流から町内産の白菜も用いて日本食研とのコラボ商品として手作りキムチを県内一円で販売、韓国式サウナのチムジルバンとレストランを同施設で運営し、令和4年度の売り上げは868万4千円、来場者数2千77人となっていた。勿論、そこで働くのは地域の方々である。

他の集落活動センターでは、簡易宿泊所の許可を取得して廃校となった小学校を活動拠点とし、学生の受け入れ、合宿などの交流創出、地元食材を活かしシフォンケーキを製造する加工グループをはじめとするおちめん営農組合設立、新聞配達事業の開始や、希少性の高い「あめご」という魚の保存組合員の高齢化に伴い養殖も継承するなど地元の問題点にもアプローチできる特定非営利活動法人として運営されている。営業実績としては令和4年度売り上

げ375万9千円、宿泊者数1千900人。その他の残り5箇所集落活動センターも業態が多様で、例えばジビエなどの獣肉解体施設を活動拠点とし全国初の移動式解体車、いわゆるジビエカーを導入し猟友会と連携を図り収益化している施設や、廃園した保育所を改修し食堂経営・事務所テナントとしての機能も兼ね備えた、デイサービス事業も展開する特定非営利活動法人として運営するなど、どれも大変興味深いものであった。本町におい



現場説明の様子



ゆすはら雲の上の図書館

ても、農産物を使った地域振興、雇用創出の一翼を担う事業展開について提案していく必要性を感じる事ができ、有意義な研修となった。

令和５年９月定例会

番 号	件 名	結 果
報 告 ３ 号	令和４年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	
議 案 64 号	天城町長等の給与等の特例に関する条例の制定について	原案可決
議 案 65 号	天城町一般廃棄物処理施設整備基金条例の制定について	原案可決
議 案 66 号	天城町印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決
議 案 67 号	天城町保育の必要性の認定に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議 案 68 号	天城町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議 案 69 号	天城町営農研修施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議 案 70 号	天城辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決
議 案 71 号	天城町過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決
議 案 72 号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の変更及び同組合規約の変更について	原案可決
議 案 73 号	人権擁護委員の候補者の推薦に対する議会の意見を求める件について	原案同意
議 案 74 号	令和５年度天城町一般会計予算補正（第２号）について	原案可決
議 案 75 号	令和５年度天城町国民健康保険事業特別会計予算補正（第２号）について	原案可決
議 案 76 号	令和５年度天城町介護保険事業特別会計予算補正（第２号）について	原案可決
議 案 77 号	令和５年度天城町後期高齢者医療事業特別会計予算補正（第２号）について	原案可決
議 案 78 号	令和５年度天城町徳之島ダム小水力発電特別会計予算補正（第１号）について	原案可決
議 案 79 号	令和５年度天城町水道事業会計補正予算（第２号）について	原案可決
議 案 80 号	令和４年度天城町一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議 案 81 号	令和４年度天城町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議 案 82 号	令和４年度天城町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議 案 83 号	令和４年度天城町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議 案 84 号	令和４年度天城町徳之島ダム小水力発電特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議 案 85 号	令和４年度天城町水道事業会計決算の認定について	認 定
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務の継続調査について	可 決
	各常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査について	可 決
議 案 86 号	天城町副町長の選任の同意について	原案同意

祝 初入閣おめでとうございます

文部科学大臣 盛山 正仁先生（天城町瀬滝二世）



〈 経 歴 〉

衆議院 議院運営委員会 理事
 党 国会対策委員会 副委員長
 衆議院 厚生労働委員会 委員長
 党 国会対策委員会 副委員長
 党 政務調査会 国土交通部長
 法務副大臣兼内閣府副大臣（重任）
 法務副大臣兼内閣府副大臣
 法務部会長

法務大臣政務官
 昭和女子大学客員教授
 国土交通省 情報管理部長をもって退官
 環境省 地球環境局総務課長
 OECD（経済協力開発機構・在パリ）運輸観光課
 運輸省入省
 博士（法学）、博士（商学）



禱 清次郎氏 副町長に選任

令和5年9月議会において提出された天城町副町長の選任案は、賛成多数で同意しました。

編集後記

まだまだ残暑は厳しいものの、朝夕などにおいては秋の気配が感じられる時期となりました。町民の皆様におかれましては、日々のお仕事にご精励のことと存じます。季節の変わり目となりますので体調には十分にご留意されてお過ごしください。

さて、2019年より世界に激震が走った新型コロナウイルス感染症も、今年の5月によりやく5類感染症へと移行されました。これにより、様々な制約が緩和の方向へと進んだことで、感染症に大きく影響を受けた「失われた3年」を取り戻すかのように多くのイベントや行事が開催され、天城町においても先ごろ4年ぶりに開催された「第49回あまぎ祭り」では3町から多くの方々のご来場で賑わい、たくさんの方の笑顔溢れるイベントとなりましたことを心より嬉しく思うところでございます。

しかしながら、一方では不安定な動きを続けた台風6号の影響で長期にわたり船便が欠航となるなど、昨今の地球温暖化に端を発する気候変動の異常は、島民生活にも目に見えて影響を与え始めていると危惧しているところです。これからは徳之島特産の馬鈴薯の植え付けなど農繁期になります。大きな自然災害がなく、豊かな島の恵みが潤沢となるようただただ願うばかりです。

また、ロシアのウクライナ侵攻に伴う多方面での物価高騰も依然として続いています。天城町議会としましては、町当局と連携し、町民の皆様の豊かな生活を維持するためにしっかりと取り組んで参る所存であります。

2023年も残り数ヶ月となりました。町民の皆様お一人ひとりに幸多き日々が訪れますことを願い、編集後記といたします。

議会だより編集委員

柏井 洋一